

平成27年11月19日  
多摩都市モノレール株式会社

# 「電力貯蔵装置」を新規に導入します

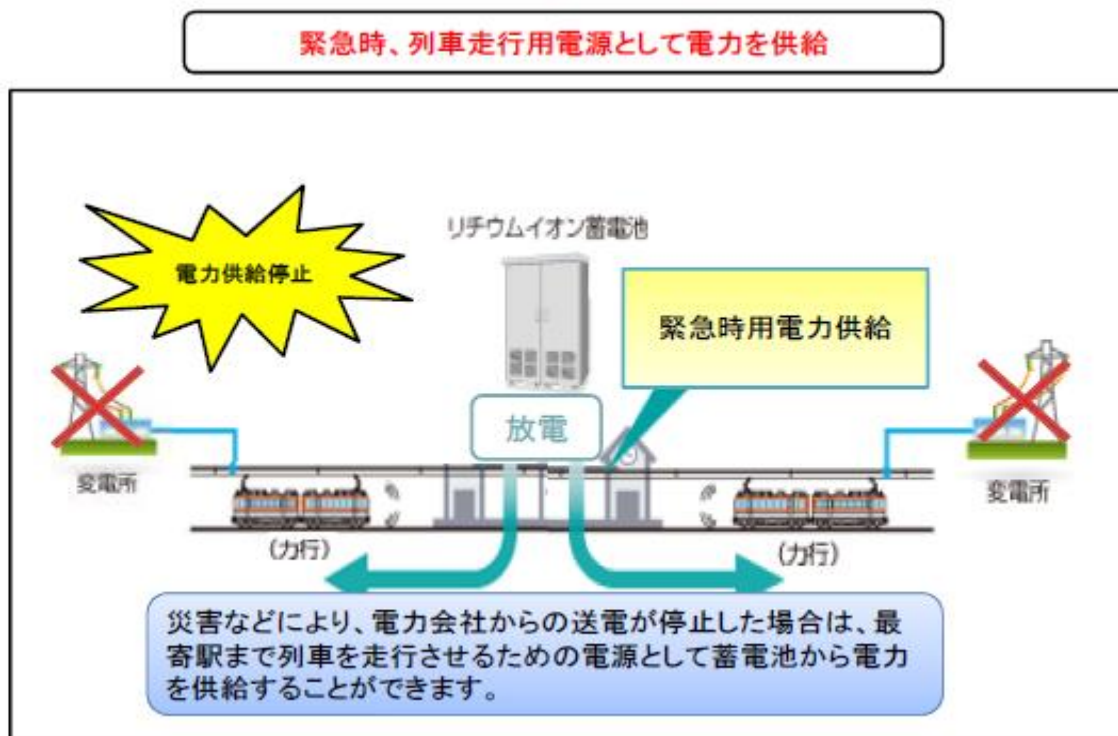
多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：河島 均）では、平成28年6月を目途に、日野変電所に「電力貯蔵装置」（非常走行用及び回生吸収用リチウムイオン電池）を新規に導入します。本装置の導入により、非常用電源を確保し、電力供給が停止した場合における更なる安全・安心を推進するとともに、平時においては回生電力を有効活用し、省エネのより一層の向上を実現してまいります。

記

## 1 電力供給が停止した際に非常走行専用の電源を使用し、全列車を最寄り駅まで運行

多摩都市モノレールは高架上进行するため、災害による大規模停電時など電力会社からの電力供給が停止し、車両が駅間で長時間停止した場合には、高所作業車などを使って救出する対策を行うこととなっておりますが、更に安全で有効な対策を検討してまいりました。

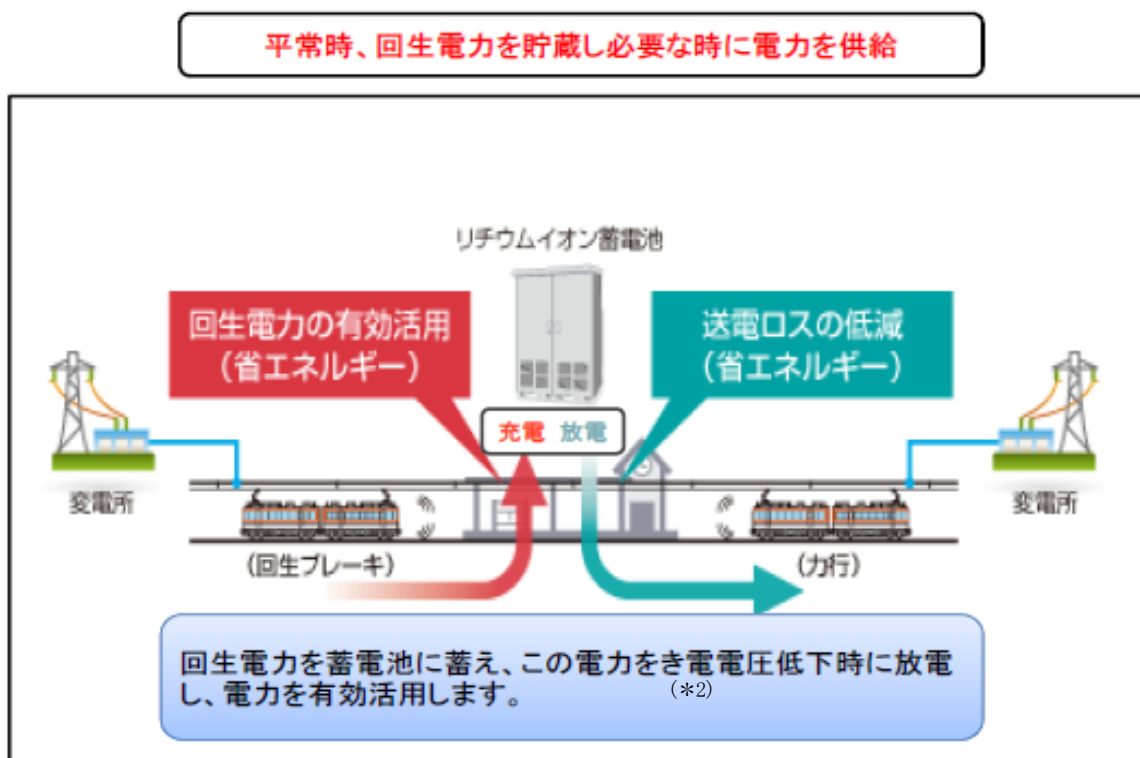
こうした中、この度「電力貯蔵装置」（非常走行用リチウムイオン電池）を日野変電所に新規に導入することにより、電力供給が停止した際にも非常用電力を車両に供給して、当社線の全線で駅間に緊急停止した全列車を最寄り駅まで運行することを可能にします。



## 2 回生電力の貯蔵・活用により一層の省エネを実現

多摩都市モノレールはこれまでも、車両等に搭載した電力回生インバーター装置(\*1)により電力を再利用するなど、環境負荷の低減に取り組んでまいりました。

この度はさらに、「電力貯蔵装置」(回生吸収用リチウムイオン電池)を日野変電所に新規に導入することにより、電車の制動時に発生する回生電力を貯蔵し、電車の加速時にこの貯蔵した電力を供給することで、電力のリサイクルや送電時の電気ロスの低減が可能となり、より一層の省エネを実現します。



\*1 電力回生インバーター装置とは、列車ブレーキ時に発生するエネルギーを駅の電灯などの電源に変換する装置をいう。

\*2 き電とは、列車運行のための電力を供給することをいう。

### 【お問合せ先】

多摩都市モノレール株式会社 運輸部工務課

TEL : 042-526-7828 (平日 9時00分～17時45分)